

2020年5月12日

各位

会社名 株式会社自律制御システム研究所
 代表者名 代表取締役社長 太田 裕朗
 (コード番号：6232 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役最高財務責任者(CFO)兼
 最高経営管理責任者(CAO) 早川 研介
 (TEL. 043-305-5871)

通期業績予想と実績値の差異及び繰延税金資産の計上のお知らせ

2019年5月9日に公表いたしました当社の2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。加えて、繰延税金資産を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期業績予想数値と実績値の差異(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,418	百万円 9	百万円 187	百万円 119	円 銭 11.67
実績値(B)	1,278	15	231	239	23.00
増減額(B-A)	▲139	6	43	122	11.33
増減率(%)	▲9.8	75.8	23.2	101.9	97.1
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	807	▲330	▲176	▲183	▲19.42

2. 差異の理由

(売上高及び営業利益)

売上高については、既存顧客に加えて、新規顧客をさらに開拓し、ソリューション構築が想定を上回り拡大しました。既存顧客においては、現場導入を見据えたカスタム開発需要、別用途の概念検証(PoC)といったソリューション構築の追加、継続の需要が発生しました。概念検証、カスタム開発は顧客システムへの組み込み、ニーズの把握を通じ、将来的な機体販売につながるため、当期はソリューション構築を中心に事業を拡大いたしました。その影響もあり、既存顧客による機体販売は当初想定ほど拡大せず、結果として、売上全体としては前回発表予想を下回りました。

営業利益面については、売上高が前回発表予想より下回ったものの、大型のソリューション開発案件受注による売上総利益率の改善及び、販売管理費を抑制したことにより前回発表予

想より増加いたしました。

(経常利益)

上記営業利益の増加に加えて、事業所移転に関する費用を抑制した結果、営業外費用が想定よりも下回り、経常利益が前回発表予想を上回りました。

(当期純利益)

上記経常利益の増加に加えて、当期に繰延税金資産を計上した結果、当期純利益が前回発表予想を上回りました。

3. 繰延税金資産の計上

当社は、2020年3月期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上することといたしました。これにより、2020年3月期第において、法人税等調整額（△は利益）を△36,921千円計上致しました。

以 上